

事務事業名		広報事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 24 年度から 年度まで
所属 部門	企画財政課 広報広聴係			課長名	佐野寿行		担当者名 内線番号
総合 計画 体系	基本目標	町民が主役となった自治に基づくまちづくり		予算 科目	会計区分	款	項
	政策名	町民が主役となった地域づくり			一般	1	1
	施策名	徹底した情報公開と説明					
法令根拠				-			
現状把握の部(Do) → 現在やっていること							

<p>◇事務事業の目的と効果</p> <p>1.手段(事業の概要)</p> <p>広報誌、ホームページ、フェイスブックで、広報事業を実施 広報誌は、編集会議、取材、編集、校正を経て、月1回(12日)発行し、町内全戸に配布している。モニター制度、庁内編集会議、年に1回のすまいるアンケート調査を実施している。担当者のスキルアップのために研修会へ参加。ホームページ、フェイスブックは、全体管理、広報に関する情報更新を実施。</p> <p>2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など)</p> <p>広報誌は、全町民 ホームページ、フェイスブックは、閲覧できる環境にある方</p> <p>3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>町民と行政の情報共有と行政の説明責任を果たし、信頼関係を構築する。また、まちづくりへの興味・関心を持ってもらう。</p> <p>4.結果(どんな結果に結び付けるのか)</p> <p>信頼関係の構築と、まちづくりに関心を持つことで、住民が主役のまちづくりが実現する。</p>		<p>5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>広報誌発行回数(年)</td><td>回</td></tr> <tr><td>②</td><td>全世帯数(月)</td><td>戸</td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>6.対象指標(対象の大きさを表す指標)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>配布世帯数(月)</td><td>戸</td></tr> <tr><td>②</td><td>ホームページアクセス数(日平均)</td><td>件</td></tr> <tr><td>③</td><td>フェイスブック「いいね!」数</td><td>件</td></tr> </table> <p>7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>毎月広報誌を読む人の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>②</td><td>広報誌を読んだ中で行政情報を理解した人の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>8.上位成果指標(結果の達成度合を表す指標)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>行政情報の公開や説明責任が十分果たされていると思う町民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	広報誌発行回数(年)	回	②	全世帯数(月)	戸	③			名称		単位	①	配布世帯数(月)	戸	②	ホームページアクセス数(日平均)	件	③	フェイスブック「いいね!」数	件	名称		単位	①	毎月広報誌を読む人の割合	%	②	広報誌を読んだ中で行政情報を理解した人の割合	%	③			名称		単位	①	行政情報の公開や説明責任が十分果たされていると思う町民の割合	%	②			③		
名称		単位																																																	
①	広報誌発行回数(年)	回																																																	
②	全世帯数(月)	戸																																																	
③																																																			
名称		単位																																																	
①	配布世帯数(月)	戸																																																	
②	ホームページアクセス数(日平均)	件																																																	
③	フェイスブック「いいね!」数	件																																																	
名称		単位																																																	
①	毎月広報誌を読む人の割合	%																																																	
②	広報誌を読んだ中で行政情報を理解した人の割合	%																																																	
③																																																			
名称		単位																																																	
①	行政情報の公開や説明責任が十分果たされていると思う町民の割合	%																																																	
②																																																			
③																																																			

◇総事業費・指標等の推移		→ 事務事業及び各指標の変更		<input checked="" type="checkbox"/> 有 (28年度から)	<input type="checkbox"/> 無				
投入 量	内 訳	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円	1,482,860	928,330	845,000	845,000			
	一般財源	円	18,608,826	21,001,885	19,494,000	19,494,000			
	事業費計(A)	円	20,091,686	21,930,215	20,339,000	20,339,000			
	正職員従事人数	人	2	2	2				
	人工数(業務量)	年間	1,5375	1,4319					
	人件費計(B)	円	12,489,359	11,798,243					
	トータルコスト(A)+(B)	円	32,581,045	33,728,458	20,339,000	20,339,000			
活動指標	① 回		12	12	12	12			
	② 戸		7,815	7,859	7,859	7,859			
	③								
対象指標	① 戸		7,050	7,083	7,083	7,083			
	② 件		428	451	480	500			
	③ 件		500	1,715	1,800	1,900			
成果指標	① %		46	54	57	60			
	② %		80	77	80	80			
	③								
上位成果指標	① %		46.2	55.0	60.0	60.0			
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化	
1.この事務事業を開始した背景	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか)
町民との行政情報共有を目的に、昭和24年から広報誌を発行し、全戸配布を実施	情報公開、説明責任が重要視される中で、広報誌の役割はさらに重要です。報告型から行政情報公開型、問題提起型に変化し、政策過程なども情報発信してきた。商工業振興と財源確保を目的に有料広告を実施し、貴重な財源になっている。 平成28年度6月号から縦書き右開きに変更し、より読みやすい工夫をしている。 平成28年2月から町公認フェイスブック芽室応援隊を開設し、情報発信ツールを充実させている。しかし、魅力ある情報発信には投稿者を増やす課題がある。

事務事業名	広報事業	所属部門	企画財政課	広報広聴係
-------	------	------	-------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望 この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input checked="" type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	<p>ホットボイス、すまいるモニター、すまいるアンケートなどから、広報誌等に関する意見をいただいている。具体的には、色や文字表記、写真の使い方、より身近に感じる広報誌への工夫など。また、生活に関わる話題(じゃがパスや高齢問題など)を求める声がある。</p> <p style="text-align: right;">※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記</p>	

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	行政情報を町民に提供することは、町が行うべき説明責任であり、その手段として広報誌発行、ホームページ、フェイスブックの運営は必要である。	
有効性 評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	町が様々なツールを使って情報発信する必要があり、特に携帯電話に対応したホームページの改良は今後の課題である。	
効率性 評価	3.成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	すまいるアンケート結果から若年層の読者が少ない傾向にあることから、指標が伸びる余地がある。	
公平性 評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	町民が行政情報を受け取る機会が失ってしまう。	
効果 性 評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか		
公平性 評価	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
	提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	町内全戸に広報誌を配布していることから適正である。	

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

29年度 の 取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性																				
	<ul style="list-style-type: none"> ・すまいるモニターやアンケート、ホットボイスなどから、必要な情報をより分かりやすく発信する。 ・担当者のスキルアップにより、作業の効率化や誌面内容の向上を図る。 ・魅力あるフェイスブックを継続するために、動画映像を配信することで魅力があって多くの人に見てもらえるものにする。また、投稿者を増やして魅力ある発信が継続できるように呼びかけを行う。 ・ホームページのあり方について検討する。(スマートフォン対応) ・シティプロモーションの調査や研究を行い、魅力ある町・選ばれる町になるための準備を行う。 	業務改善 2.改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下		
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
30年度 以降 の 取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの改修(現状の課題を踏まえ、即時性を重視したホームページに変更を視野に入れる) ・シティプロモーションの研究、実施(持続可能、選ばれる、愛郷愛をキーワードにした目的を明確化する) 																					

※町民等の意見・要望に対する検討結果

読者(町民)のための発行・発信を基本に、改善できるものは改善している。広報誌の中で生活に関わる話題(公共交通など)を取り上げる。

事務事業名		町民参加推進事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 16 年度から 年度まで	
所属 部門	企画財政課 広報広聴係			課長名	佐野寿行		担当者名 内線番号	
総合 計画 体系	基本目標	町民が主役となった自治に基づくまちづくり		予算 科目	会計区分	款	項	
	政策名	町民が主役となった地域づくり			一般	2	1	2
	施策名	町民参加の促進			予算上の事業名 町民参加推進事業			

法令根拠 | めむろまちづくり参加条例

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果		5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)													
1.手段(事業の概要) 町民参加手続きなどが適正に行われているか、町民参加推進会議を開催し、課題がある場合には指摘していただき、改善などを行ってきた。しかし、総合計画審議会との役割重複から町民参加推進会議体を廃止した。		<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>推進会議開催回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		名称		単位	①	推進会議開催回数	回	②			③		
名称		単位													
①	推進会議開催回数	回													
②															
③															
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 全町民と進行管理する委員		<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>町民参加手続きを行うべき事業数</td><td>件</td></tr> <tr><td>②</td><td>委員</td><td>人</td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		名称		単位	①	町民参加手続きを行うべき事業数	件	②	委員	人	③		
名称		単位													
①	町民参加手続きを行うべき事業数	件													
②	委員	人													
③															
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 条例が機能し、町民参加手続きが適切に実施され、町民がまちづくりに参加できているかの評価を行う。		<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>町民参加手続きを行った事業数</td><td>件</td></tr> <tr><td>②</td><td>推進会議から出された意見・提言書の数</td><td>件</td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		名称		単位	①	町民参加手続きを行った事業数	件	②	推進会議から出された意見・提言書の数	件	③		
名称		単位													
①	町民参加手続きを行った事業数	件													
②	推進会議から出された意見・提言書の数	件													
③															
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 町民参加が推進される。		<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>町民参加の数(過去3年間の平均)</td><td>人/年</td></tr> <tr><td>②</td><td>町民の意見を聞く機会が充実していると思う町民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		名称		単位	①	町民参加の数(過去3年間の平均)	人/年	②	町民の意見を聞く機会が充実していると思う町民の割合	%	③		
名称		単位													
①	町民参加の数(過去3年間の平均)	人/年													
②	町民の意見を聞く機会が充実していると思う町民の割合	%													
③															

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (年度から) 無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投入 量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	25,468	28,176	0	0			
	事業費計(A)	円	25,468	28,176	0	0			
	正職員従事人数	人	2	2	2				
	人工数(業務量)	年間	0.0842	0.0887					
人件費	円	683,970	730,850						
トータルコスト(A)+(B)	円	709,438	759,026	0	0				
活動指標	①	回	1	1	0	0			
	②								
	③								
対象指標	①	件	112	73	73	73			
	②	人	10	10	0	0			
	③								
成果指標	①	件	112	73	73	73			
	②	件	1	7	7	7			
	③								
上位成果指標	①	人/年	1,013	923	923	923			
	②	%	50.5	50.0	50.0	50.0			
	③								

◇事務事業の環境変化	
1.この事務事業を開始した背景 めむろまちづくり参加条例が平成16年5月に施行され、その条例に沿った仕事の進め方がされているかをチェックし、町民参加を推進するため。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 町民参加推進会議と総合計画審議会の評価役割が重複していることを踏まえ一本化を行った。 今後は会議体がなくなったことで住民参加手続きが後退することがないように、ホームページやフェイスブックによる周知やパブリックコメントの意見などを広報誌でお知らせする。

事務事業名	町民参加推進事業	所属部門	企画財政課	広報広聴係
-------	----------	------	-------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望 この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性 なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	町民参加推進会議体は、総合計画審議会と一本化する。		
有効性 評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地 対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	3.成果の向上余地 事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
効率性 評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地 事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	5.事業費(トータルコスト)の削減余地 成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
公平性 評価	6.受益と負担の適正化余地 提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

29年度 の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入) ・町民参加推進会議体をなくすことへの意見があったことを踏まえ、町民参加手続きが後退したと受け止められないように、各審議会やパブリックコメントなどの結果や内容をホームページやフェイスブックで情報発信を迅速に実施する。 ・情報発信について、担当課の温度差があることからその都度発信を促す。	改革・改善実施の方向性 廃止	2.改革・改善による期待成果																				
	30年度 以降の取組	・町の仕事に対して、町民参加手続きや審議会などの情報発信を継続する。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下		
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	○																					
	低下																						

※町民等の意見・要望に対する検討結果

事務事業名		広聴事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 8 年度から 年度まで
所属部門	企画財政課		広報広聴係	課長名	佐野寿行		担当者名 内線番号
総合計画体系	基本目標	町民が主役となった自治に基づくまちづくり		予算科目	会計区分	款	項
	政策名	町民が主役となった地域づくり			一般	2	1
	施策名	徹底した情報公開と説明					
法令根拠				-			
現状把握の部(Do) → 現在やっていること							

<p>◇事務事業の目的と効果</p> <p>1.手段(事業の概要)</p> <p>○個別広聴「ホットボイス(はがき、メール、FAX)」「日常の電話・窓口などにおける意見」</p> <p>○集団広聴「そよ風トーク(巡回型、団体別、テーマ別)」</p> <p>行政(町長)が町民の意見を聞く機会や、町民が直接行政(町長)と議論や意見交換を行う機会を設定し、情報交換と情報の共有化を行う。</p>		<p>5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>広聴ツールの数</td><td>件</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	広聴ツールの数	件	②			③		
名称		単位													
①	広聴ツールの数	件													
②															
③															
<p>2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など)すべての町民</p>		<p>6.対象指標(対象の大きさを表す指標)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>人口</td><td>人</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	人口	人	②			③		
名称		単位													
①	人口	人													
②															
③															
<p>3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>行政との直接対話(傾聴)により、まちづくりに対する意識を高め、積極的に提案や意見などを述べるようになる。</p>		<p>7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>(団体別)そよ風トーク参加者</td><td>人</td></tr> <tr><td>②</td><td>(巡回型)そよ風トーク参加者</td><td>人</td></tr> <tr><td>③</td><td>ホットボイス受理件数</td><td>件</td></tr> </table>		名称		単位	①	(団体別)そよ風トーク参加者	人	②	(巡回型)そよ風トーク参加者	人	③	ホットボイス受理件数	件
名称		単位													
①	(団体別)そよ風トーク参加者	人													
②	(巡回型)そよ風トーク参加者	人													
③	ホットボイス受理件数	件													
<p>4.結果(どんな結果に結び付けるのか)</p> <p>町民との情報交換、行政情報の共有化、町民が主役のまちづくりにつながる。</p>		<p>8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>行政情報の公開や説明責任が十分果たされていると思う町民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	行政情報の公開や説明責任が十分果たされていると思う町民の割合	%	②			③		
名称		単位													
①	行政情報の公開や説明責任が十分果たされていると思う町民の割合	%													
②															
③															

◇総事業費・指標等の推移		→ 事務事業及び各指標の変更		<input type="checkbox"/> 有 (年度から)	<input checked="" type="checkbox"/> 無			
内 訳	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	20,267	41,096	28,000	28,000		
	事業費計(A)	円	20,267	41,096	28,000	28,000		
	人件費	人	2	2	2			
人件費	正職員従事人数	年間	0.2900	0.3291				
	人工数(業務量)	円	2,355,716	2,711,643				
	人件費計(B)	円	2,355,716	2,711,643				
トータルコスト(A)+(B)	円	2,375,983	2,752,739	28,000	28,000			
活動指標	①	件	5	5	5			
	②							
	③							
対象指標	①	人	18,950	18,809	18,809			
	②							
	③							
成果指標	①	人	149	90	90	90		
	②	人	233	157	157	157		
	③	件	195	165	165	165		
上位成果指標	①	%	46.2	55.0	55.0	55.0		
	②							
	③							

◇事務事業の環境変化	
<p>1.この事務事業を開始した背景</p> <p>町政への提案や要望、苦情などを「ホットボイス」や「そよ風トーク」等で把握して、町政に反映し、住みやすいまちづくりを行う観点から開始。</p>	<p>2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか)</p> <p>5つの広聴ツール「①ホットボイス」「②日常業務における対応」「③巡回型そよ風トーク」「④テーマ別そよ風トーク」「⑤団体別そよ風トーク」により、町民が意見を述べる機会が増え、町民にとっては意見などを言う場が増えた。 それらの意見をまちづくりに、どう生かして、どう反映しているか、どう対応しているかが見える工夫と、それらを通して更なる信頼関係を構築していくことが必要である。 また、意見が述べやすい環境づくりは継続して模索する。</p>

事務事業名	広聴事業	所属部門	企画財政課	広報広聴係
-------	------	------	-------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望 この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input checked="" type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	そよ風トークは、もっと町民が参加しやすく、意見を述べやすい環境を整えてほしい。 ※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性 なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	町民が主役のまちづくりは、情報を公開し町民からの意見を聴くことは重要であり、町の責務として進める必要がある。		
有効性 評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地 対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	町民の意見を聴くことは、これからのまちづくりには重要である。		
効率性 評価	3.成果の向上余地 事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
公平性 評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地 事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	そよ風トークは200人を超える町民が参加して町の施策について、町長と語りあえる場である。		
効率性 評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地 成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
公平性 評価	6.受益と負担の適正化余地 提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
	新聞折込で多くの町民にそよ風トークの開催内容を知らせるものである。開催日時と開催場所の周知は必要である。		

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

29年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入) ・そよ風トークの積極的周知と、各種団体への直接依頼を行う。 ・夏季巡回トークは台風災害の影響で3会場で開催となった。参加者も低調だったことや意見を述べやすい環境づくりを検討した結果、町内会や団体・サークル・少年団・友人同士など気軽に話ができるような場に出向くトークを行う。(茶話会のイメージ)	改革・改善実施の方向性 業務改善																				
	30年度以降の取組	2.改革・改善による期待成果																				
・平成29年度に行う「ふらっとトーク」の検証を行い、今後も行政(町長)と直接話を聴ける場を作る手法を検討する。 ・子どもトーク開催検討する。テーマを決め、子どもならではの発想や考えを述べることで、今後の事業展開も考えられる。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下		
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

※町民等の意見・要望に対する検討結果

<p>そよ風トークにおいて、話をしやすい環境をつくってほしいとの声を踏まえ、参加者の緊張度を低くした「ふらっとトーク」を行う。(ふらっとトークとは、団体やサークルに町長が出向き、共通の話題を通じて、町民の声を聞くトーク)</p>
--